

富津市在宅医療・介護連携推進会議 会議録

1	会議の名称	令和8年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議																																																	
2	開催日時	令和8年6月30日（火） 18時30分～19時40分																																																	
3	開催場所	富津市消防防災センター1階会議室2																																																	
4	審議等事項	（1）富津市在宅医療・介護連携推進会議会長及び副会長の選出について （2）在宅医療・介護連携のための現状把握について （3）令和8年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について																																																	
5	出席者名	（委員） <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名（敬称略）</th><th>参加方法</th><th>氏名（敬称略）</th><th>参加方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹内 修</td><td>来庁</td><td>田中 計</td><td>来庁</td></tr> <tr> <td>北湯口 広</td><td>来庁</td><td>熊切 篤</td><td>来庁</td></tr> <tr> <td>水町 裕義</td><td>Z o o m</td><td>大島 拓二郎</td><td>来庁</td></tr> <tr> <td>小柴 奈美</td><td>来庁</td><td>西川 加代</td><td>来庁</td></tr> <tr> <td>杉浦 麻美</td><td>来庁</td><td>鈴木 真志</td><td>来庁</td></tr> <tr> <td>牧 達人</td><td>来庁</td><td>秋川 裕康</td><td>Z o o m</td></tr> <tr> <td>有江 直樹</td><td>Z o o m</td><td>福原 賢一</td><td>Z o o m</td></tr> <tr> <td>小幡 伸吾</td><td>来庁</td><td>門屋 千鶴</td><td>来庁</td></tr> <tr> <td>三辻 暁美</td><td>来庁</td><td>飯田 篤史</td><td>来庁</td></tr> <tr> <td>本吉 明美</td><td>来庁</td><td>藤野 雅一</td><td>来庁</td></tr> <tr> <td>成田 政勝</td><td>来庁</td><td>中山 貴弘</td><td>来庁</td></tr> </tbody> </table> （事務局） 健康福祉部長 小野田隆博、介護福祉課長 中山貴弘、 高齢者支援係長 西野雅則、社会福祉主事 佐久間瑛大、 社会福祉主事 平野裕大		氏名（敬称略）	参加方法	氏名（敬称略）	参加方法	竹内 修	来庁	田中 計	来庁	北湯口 広	来庁	熊切 篤	来庁	水町 裕義	Z o o m	大島 拓二郎	来庁	小柴 奈美	来庁	西川 加代	来庁	杉浦 麻美	来庁	鈴木 真志	来庁	牧 達人	来庁	秋川 裕康	Z o o m	有江 直樹	Z o o m	福原 賢一	Z o o m	小幡 伸吾	来庁	門屋 千鶴	来庁	三辻 暁美	来庁	飯田 篤史	来庁	本吉 明美	来庁	藤野 雅一	来庁	成田 政勝	来庁	中山 貴弘	来庁
氏名（敬称略）	参加方法	氏名（敬称略）	参加方法																																																
竹内 修	来庁	田中 計	来庁																																																
北湯口 広	来庁	熊切 篤	来庁																																																
水町 裕義	Z o o m	大島 拓二郎	来庁																																																
小柴 奈美	来庁	西川 加代	来庁																																																
杉浦 麻美	来庁	鈴木 真志	来庁																																																
牧 達人	来庁	秋川 裕康	Z o o m																																																
有江 直樹	Z o o m	福原 賢一	Z o o m																																																
小幡 伸吾	来庁	門屋 千鶴	来庁																																																
三辻 暁美	来庁	飯田 篤史	来庁																																																
本吉 明美	来庁	藤野 雅一	来庁																																																
成田 政勝	来庁	中山 貴弘	来庁																																																
6	公開又は 非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開																																																	

7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 2 3 条第 号に該当 (理由)
8 所管課	健康福祉部介護福祉課 高齢者支援係 電話 0 4 3 9 - 8 0 - 1 3 0 0
9 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
事務局 (西野係長)	定刻となりました。 本日欠席される旨ご連絡をいただいている方、また、まだお見えになっていない方もおられますが、始めさせていただきます。 会議を始めます前に、配付資料の確認をいたします。 お配りしたものは、 ・ 次第 ・ 名簿 ・ 議題（２）関連資料「在宅医療・介護連携のための現状把握について」（Ａ４の横版のものです） ・ 議題（２）関連資料「委員所属団体等での取組み一覧」（Ａ３版のものです） ・ 議題（３）関連資料「令和８年度在宅医療・介護連携推進会議年間予定表」 ・ 議題（３）関連資料「令和８年度在宅医療・介護連携推進会議の年間予定について」 ・ マイライフノート です。 不足がございましたら、資料をお持ちしますので、挙手をお願いいたします。
事務局 (西野係長)	また、本会議の傍聴についてお知らせします。 富津市情報公開条例第２３条第１項の規定により、市の付属機関等である審議会等の会議は一部の場合を除いて公開で行うべきものとされており、同条第２項の規定により何人も公開された会議を傍聴することができることとされております。

	本日、傍聴の方はおられませんので、このまま進めさせていただきます。
事務局 (西野係長)	それでは、本日は令和８年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の第１回ということで、今年度から２年間委員をお願いするにあたり、小野田健康福祉部長から辞令の交付を行わせていただきます。 (辞令交付)
事務局 (西野係長)	それでは、ただ今より、令和８年度第１回富津市在宅医療・介護連携推進会議を始めます。 また、議事録作成のため、会議の内容を録音させていただいておりますので、ご了承くださいるようお願い申し上げます。 お手元の次第により、進めさせていただきます。 開会にあたり、小野田健康福祉部長からごあいさつを申し上げます。
小野田部長	みなさんこんばんは。健康福祉部長の小野田と申します。 令和８年度第１回在宅医療・介護連携推進会議の開催にあたりまして、一言ごあいさつをさせていただきます。 委員の皆さまには、公私ともご多用の中、またお疲れのところ、本日はご出席を賜り、誠にありがとうございます。 また、日頃から在宅医療と介護の連携推進にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。おかげさまで本会議も平成２９年度に発足し、１０年目となったところでございます。 さて、皆さまご承知のとおり、少子高齢化が進んでおります。富津市におきましても、この連携推進会議発足時の平成

	29年度の高齢化率（65歳以上人口）は、35.3%でございました。令和8年4月時点で40.3%と5ポイントの増となっており、また、昨年同時期は39.98%でございました。とうとう40%を超えてきた状況でございます。このように高齢化が進む中で、ますます医療と介護のニーズは高まり、在宅での生活を希望する方もより多くなるものと思われま す。 今年度は、令和9年度から令和11年度までの3年間の事業展開の指針となります「第10期介護保険事業計画」の策定に向けまして、現在ニーズ調査等の分析に取り組んでいるところでございます。 介護保険事業計画の基本理念であります「高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らせるまち」の実現のためには、医療と介護の関係者の皆さまとの情報共有と連携は不可欠であると考えております。 委員の皆さまには引き続きのご理解・ご協力、またご尽力を賜りますようお願い申し上げます。 結びに、委員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げ、簡単ではございますが冒頭の挨拶とさせていただきます。 本日はよろしく願いいたします。
事務局 (西野係長)	本日は、みなさま、委員就任後初めての会議でございます。本年度から、新たに委員を務めていただいた方もいらっしゃいます。本来はお一人ずつ自己紹介をお願いしたいところですが、時間の都合上、名簿の配付を以て紹介に代えさせていただきます。 富津市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱第6条第1項に「会長が議長となる」と規定されています。会長、副会長が選任されるまでの間、慣例により中山介護福祉課長が仮議

	長の職を務めさせていただきたいと思いますが、ご承諾いただけますでしょうか。
委員	(異議なし)
事務局 (西野係長)	それでは、会長、副会長が選任されるまでの間、中山介護福祉課長が、仮議長を務めます。
中山委員	それでは、会長・副会長が選任されるまでの間、私が仮議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。 議題第1号「富津市在宅医療・介護連携推進会議会長及び副会長の選出について」を議題とします。 事務局に説明を求めます。
事務局 (西野係長)	ご説明いたします。 富津市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱第5条第1項に、「連携推進会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める」とありますので、会長及び副会長を委員の互選により当選人を決定していただきたいと存じます。
中山委員	互選の方法には、選挙と推せんがありますが、いかがいたしましょうか。
成田委員	会長、副会長共に、指名推薦の方法がよろしいかと考えます。
中山委員	ただ今、会長、副会長共に指名推薦の方法が良いのでは意見がありました。いかがいたしましょうか。
委員	(異議なし)

中山委員	それでは、どなたか会長の推薦をお願いいたします。
飯田委員	昨年度まで会長を務めていただいた竹内委員を引き続き会長に推薦いたします。
中山委員	他に推薦はございませんか。 ただ今、竹内委員を会長にとの意見がありました。 他に推薦もないようですので、竹内委員に会長をお願いすることについて皆さん、ご承認いただけますでしょうか。
委員	(異議なし)
中山委員	ご異議もないようですので、竹内委員に会長をお願いすることといたします。 続きまして、副会長の推薦をお願いします。
本吉委員	藤野委員を推薦いたします。
中山委員	他に推薦はございませんか。 ただ今、藤野委員を副会長にとの意見がありました。 他に推薦もないようですので、藤野委員に副会長をお願いすることについて皆さん、ご承認いただけますでしょうか。
委員	(異議なし)
中山委員	ご異議はないようですので、藤野委員に副会長をお願いすることといたします。 それでは、会長、副会長が選出されましたので仮議長の任を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。
事務局	だたいま選出されました、竹内会長、藤野副会長には、恐

(西野係長)	れ入りますが、前の席へ移動していただき、一言ごあいさつをお願いいたします。
竹内会長	皆様こんばんは。竹内でございます。二期目ということで、やらせていただきます。 今日の朝方、サッカーの皆さん、頑張ってくださいありがとうございます。 サッカーのチームは監督と選手が一丸となって同じ方向に向かっていて、非常に感動しましたですね。 この会議もぜひみんな同じ方向を向いて進めていけたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
藤野副会長	皆様こんばんは。天羽包括支援センターの藤野です。 日頃お世話になっている皆様を前に大変恐縮なのですが、この会が充実したものとなるよう尽力していきますので、よろしくお願いいたします。
事務局 (西野係長)	竹内会長、藤野副会長、ありがとうございます。それでは、富津市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱第6条に「会長は議長となる」と規定されていますので、竹内会長に議事進行をお願いいたします。
竹内議長	それでは、議長を務めさせていただきます。 まず、私から、本日の会議の議事録署名委員の指名をいたします。 小幡委員を議事録署名人に指名しますので、よろしくお願いします。 それでは、会議次第に沿って、進めさせていただきます。 議題第2号「在宅医療・介護連携のための現状把握について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。

事務局 (西野係長)	説明いたします。皆様、お手元の議題（２）「在宅医療・介護連携のための現状把握について」をご覧ください。 A 4 版資料 2 ページをお開きください。第 9 期富津市介護保険事業計画において、「高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らせるまち」という富津市の基本理念を掲げております。その理念を実現するための目標と施策があり、目標 2 「在宅生活が継続できる体制を整備する」ための施策として、在宅医療・介護連携の推進があります。 3 ページをご覧ください。令和 8 年 4 月 1 日時点では、富津市の高齢化率は 4 0 . 3 0 %です。毎年上昇を続けております。7 5 歳以上の人口割合が大きいことから、要支援・要介護認定の数も今後上昇を続けていくことが見込まれています。 4 ページをご覧ください。こちらの表は、富津市の医療・介護の事業所等の数を示しております。 5 ページをご覧ください。こちらのグラフは、富津市の人口の推移を示しております。今後も総人口は減少する一方、1 0 年～1 5 年後には生産年齢人口と高齢者人口が逆転することが見込まれています。そして 2 0 5 0 年には高齢化率が 5 0 %を超えると見込まれています。 6 ページをご覧ください。こちらの表は、要介護認定者数や認定率の推移を示しております。認定率も概ね上昇傾向で推移しております。こちら、現在、団塊の世代の方が 2 0 2 5 年に皆さん 7 5 歳以上となられたことから、後期高齢者の数が上昇を続けていくと見込まれておりますので、要介護・要支援認定率も上昇するものと思われます。 7 ページをご覧ください。医療や介護、生活支援と介護予防が一体的に提供されることにより、誰もが住み慣れた地域で暮らすことのできる「地域包括ケアシステム」を構築する
-----------------------	---

ことを目的に、地域支援事業という市が取り組むべき事業があります。

介護保険事業は、国が全国一律の基準を定める保険給付と、市が自由に基準を定めることが可能な地域支援事業とに分かれます。

8 ページをご覧ください。地域支援事業の構成です。皆さまにご参加いただいている「在宅医療・介護連携推進会議」は、包括的支援事業の1つに位置づけられています。

9 ページをご覧ください。要支援1・2という認定を受けた方は、食事や排泄などの日常の基本的な動作は一人で行えるものの、身だしなみや清掃などに誰かの支援が必要な状態を指します。また、ご本人が活動的になることで、元の自立した生活に戻ることができる可能性がある方々です。

要支援1・2の方々への関わりの入口として、まずは困りごとをお聞きします。次に、困りごとの改善に向け、総合事業として、フレイルサポーターの活動や住民主体のサロンなどの多様な取組により、誰かの手助けが必要な状態から元の生活に戻るための支援を実施します。

ご本人の状態が改善できたら、出口の充実ということで、生活支援コーディネーター等が富津市いきいき百歳体操や趣味の活動などの社会資源に繋ぐことで、改善した状態をキープすることを目指します。

本来は、地域ケア会議という、専門職から民生委員等の方々まで、色々な方の意見をお聞きする会議の中で、方針を決めていくことが理想です。

このような関わりの中で、必要なときに医療サービスを利用したり、認知症の早期発見・早期対応を行ったりします。

10 ページをご覧ください。こちらは、要介護1～5ということで、認知症を発症している方や、食事や排泄に介護が

必要な方への関わりを示したものです。こちらは、ケアマネジャーに介護保険サービスを調整していただくことで、生活を支えていくこととなります。ただ、介護保険サービスで補いきれない部分は、宅配やサロンなどインフォーマルサービスを活用していきます。

1 1 ページをご覧ください。ここからは在宅医療と介護連携の話となります。厚生労働省発行の「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」では、在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面を意識した取組みが必要であること、4つの場面ごとに目指すべき姿を設定することが重要であることが示されております。

1 2 ページをご覧ください。富津市においては、令和4年度に本会議にて、場面毎に目指すべき姿を設定していただきました。

場面毎の目指すべき姿を実現していくことで、「住み慣れた地域で安心して人生の最期まで暮らせるまち」を目指していきます。

1 3 ページをご覧ください。目指すべき姿を実現するための対応策①は相談支援です。富津市では、「医療介護連携地域相談サポート医設置事業」というものを行っています。これは、受診拒否等のケースについて、地域包括支援センターを通じて、三枝先生をはじめとした地域相談サポート医に「相談」と「質問」ができる仕組みです。木更津市、君津市、袖ケ浦市、富津市が君津木更津医師会へ事業を委託して実施しています。

1 4 ページをご覧ください。対応策②は、地域住民の普及啓発です。マイライフノートの配布等を行っております。令和7年度は、11月にマイライフノート活用セミナーを実施いたしました。また、今年度、5月に一部改正した令和8年

	度版を配布しております。 15ページをご覧ください。対応策③は、医療・介護関係者の情報共有の支援ということで、君津四市ではバイタルリンクの運用を開始しております。グループラインのように、メッセージや添付ファイルのやり取りをしたり、グループでZ o o mの打合せを行ったりすることもできます。 16ページをご覧ください。こちらは、令和5年度から活動を始めた高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施のイメージスライドです。この事業は千葉県後期高齢者医療広域連合から委託を受け、地域の関係機関と連携し、後期高齢者に対する保健事業を、国民健康保険の保健事業や、介護保険の地域支援事業と連動させながら一体的に実施するものです。 現状把握について、説明は以上となります。
竹内議長	はい、説明は終わりました。質問等ないでしょうか。
委員	(特になし)
竹内議長	それでは、各委員からそれぞれの所属団体等で令和7年度及び今年度に取り組んでいる施策について、情報交換を始めます。 議題第2号関連資料「委員所属団体等での取組み一覧」をご覧ください。 まずは、医師会から発表いたします。 医師会では、在宅医療介護ケア委員会を設けておりまして、会議・研修等の概要でございますけれども、下記の小委員会を実施しております。 1番、在宅医療・介護連携と研修

	2 番、認知症医療・介護の連携と研修 3 番、地域住民の普及活動 4 番、在宅医療介護連携相談支援、市の事業を受託しております。 5 番、入退院時支援 となります。 令和 7 年度の実績でございますけれども、令和 7 年 1 2 月 1 5 日に君津圏域在宅医療コーディネーター研修会を行っております。 令和 8 年度取組予定は、医療・介護連携地域相談サポート医設置事業を継続します。 続きまして、君津木更津地区 4 市ケアマネジャー連絡協議会、君津地域地域包括支援センター連絡協議会となっております。 会議・研修等の概要でございますけれども、左記の多職種からなる協議会。在宅医療介護ケア委員会の 5 つの小委員会からなるケア委員会、4 市の各部会と連携を図ると。 令和 7 年度の実績でございますけれども、令和 7 年 1 1 月 2 0 日に「第 1 0 回君津木更津地区四市ケアマネジャー連絡協議会」及び「第 9 回君津木更津地区四市地域包括支援センター連絡協議会」合同開催をしております。 医師会は以上でございます。 続きまして、歯科医師会については熊切委員にお願いいたします。
熊切委員	歯科医師会に関しましては、県の方がいろいろやっていたいておりまして、令和 7 年度の実績と引き続き同じようなことを令和 8 年度もやる予定だそうですけれども、令和 7 年度の実績は、在宅歯科医療を行う歯科医師育成研修会、ずっ

	とやっております。在宅歯科医療推進に関する研修会、それと、歯科専門職未配置病院における口腔ケア研修、これも継続して行っています。 介護施設の個別訪問というのもやっております。これを今年度も引き続きやっていく予定だそうです。以上です。
竹内議長	薬剤師会については、大島委員にお願いします。
大島委員	薬剤師会の大島です。薬剤師会に関しましては、昨年度と同様の動きをしております。 地域包括支援センターに対する医薬品相談窓口というものの、これは主催が云々というよりは、各薬局でいろんな相談があった、どこの薬局が担当しているかわからないというような状況の時には、3包括のところでの窓口、うちの方であれば大塚薬局であったりというのが窓口になっているので、相談の窓口として中心に、もし何かあればというところで動ける状況になっているところです。 それから地域に根ざした薬剤師を育成するということで、これは県の事業なんですけれども、在宅先にまだ未経験の薬剤師と一緒に連れて行って、こういうものだよ、というところを研修していくといったところ、これは7年度の実績で5件ありました。 その下のお薬相談会とか施設においての認知症の勉強会等を通じて、その中で疑問に思ったようなところとか、もしくは我々の話の中で「これは包括に繋げた方がいいな」とか、「医師にご相談するように」としないといけないなという症例を見つけて、そちらに導いていくといったことをやっています。 高齢者の教育という面では、昨年度は3月に1回。お薬相

	談会に関しては、市役所で特定健診を行う日を目安にして6月と9月と11月の3回行っているところでございます。以上です。
竹内議長	訪問看護については、三辻委員にお願いします。
三辻委員	訪問看護から、昨年度は例年通り、君津地域の訪問看護つなぐ会ということをして3ヶ月ごとに開催しております。訪問看護で困っていること等を話し合いしております。昨年はACPの話題が多く出ておりました。今年については、医療保険の改正がありますので、そちらの改正に伴って訪問看護で落としどころがないかとかいうところを確認している会議となっております。 あとは連携シートというものをこれから作成していく予定となっております。以上です。
竹内議長	リハビリ職団体については、牧委員にお願いします。
牧委員	リハビリの職能団体としましては、まずは広域支援センター主催の君津地域リハビリテーション連絡協議会というものを毎年行っています。医師会はじめ行政の方々や関連職種の方々に集まっていただきまして、事業実績の報告と計画を報告させていただいております。 また、各団体の活動報告や地域課題の共有などを議題として会議を行っております。 昨年度は6月19日に行われておりました。今年に关しても先日行われております。6月18日に行われました。 続きまして、同じく広域支援センター主催の君津圏域公開フォーラム、現在は「きみフェス!!」と名前を変えておりました。市民に向けて地域課題等にかかわる講演ですとか、健

	康チェックなどを行っております。昨年度も９月に行われまして、例年より多くの方に参加していただいて、ちょっとトラブルも起きたようなんですけれども、多くの方に参加していただいたということで、今年も同様に１０月３日に「きみフェス!!２０２６」として、今年のテーマは「医療の今を知る」ということで小児科医の先生から講演をいただけるという話でした。 続きまして、県から委託されている事業ですね。地域リハビリテーション支援体制整備推進事業というものがあって、こちらも例年、定期的にミーティングを行っているということでした。地域リハビリテーションを実施する関係機関のミーティングですね。こちらも今年度も同様に予定されております。 最後になります。君津圏域 PT・OT・ST 連絡協議会主催の研修会を昨年度は１月１６日に行いました。今年度はテーマはまだ未定ですが、１月２９日に予定されております。以上です。
竹内議長	訪問介護については、秋川委員にお願いします。
事務局 (西野係長)	申し訳ございません、接続トラブルのため秋川委員に代わって事務局から申し上げます。 会議・研修等の概要については、各事業所で毎月研修を実施しております。内容は介護や職業倫理、情報管理等についてです。また、特定事業所加算に関する研修も行っています。 令和７年度の実績及び令和８年度の取組予定については割愛させていただきます。以上です。
竹内議長	富津市ケアマネジャー協議会については、有江委員に願

	いします。
事務局 (西野係長)	申し訳ございません、接続トラブルのため有江委員に代わって事務局から申し上げます。 富津市介護支援連絡協議会につきましては、医師会第4部会と介護機関とが連携し、研修や意見交換を通して顔の見える関係づくりを行っております。 令和7年度の実績については、8月22日、委員が参集開催し、近況報告、地域課題、今後の展望等について協議いたしました。 令和8年度の実績については、随時検討中でございます。 続いて、富津市ケアマネジャー協議会については、下記事項を行っております。 1 介護支援専門員の資質の向上 2 介護保険に関する知識・技術の向上 3 介護保険の情報収集等の支援 としております。 「主任ケアマネ部会」と「地域活動部会」に分かれて活動をしておりました。 令和7年度の実績は、11月11日に「STから学ぶ摂食・嚥下機能について」の研修を行いました。 令和8年度の実績については、随時検討中でございます。以上です。
竹内議長	介護老人保健施設については、村田委員にお願いします。
事務局 (西野係長)	申し訳ございません、村田委員に代わって事務局から申し上げます。

	千葉県老人保健施設協会の研修につきましては、認知症、看取り、リスクマネジメント、在宅支援・ケアの質を上げるための研修を実施しております。 令和7年度の実績及び令和8年度の実行予定については割愛させていただきます。以上です。
竹内議長	地域相談サポート医設置事業については、事務局にお願いします。
事務局 (西野係長)	地域相談サポート医設置事業については、在宅療養が必要な高齢者等に係る医療と介護の連携を実施するため、市の地域包括支援センターに医療介護連携サポート窓口を置いております。 地域の医療・介護関係者からの相談に対し、関係機関との調整等を行うことにより、高齢者等が住み慣れた地域での暮らしを継続できることを目指しております。 令和7年度の実績としては、地域相談サポート医あるいは地域のお医者様に相談し、的確なアドバイスがいただけたものと認識しております。 令和8年度の実行予定は、圏域のケアマネジャーや住民からの相談を契機に、地域相談サポート医に相談をしていく予定としております。 続いて、サポート医による訪問支援について説明します。こちらは、 1、地域相談サポート医への相談案件のうち受診拒否の事例を対象に、サポート医が訪問支援を行う。 2、訪問支援を実施した事例については、相談窓口がモニタリングを実施、市へ報告すること。 となっております。

	令和 7 年度の実績は、訪問支援の事例はございませんでした。 令和 8 年度 of 取組予定は、訪問支援が必要な受診拒否ケースが発生次第、サポート医に相談し、適宜対応していくことを予定しております。以上です。
竹内議長	認知症メモリーウォークについては、事務局にお願いします。
事務局 (西野係長)	認知症メモリーウォークについて説明します。こちらは、認知症の人が安心して暮らせるよう、認知症に対する偏見を取り払い、認知症という病気の理解を深めるため、市民に対し啓発を行うことを目的にイオンモール富津等でパレードを実施するものです。 令和 7 年度は 1 1 月 2 9 日に市民ふれあい公園にて、パレード行進及びブースの出展を行いました。こちらは 6 0 名ほどの方に参加いただきまして、多数の方に周知等ができたものと考えております。 令和 8 年度 of 取組予定は、1 1 月に市民ふれあい公園で実施を予定しております。こちらについては、月 1 回開催される実行委員会議で企画について詳細を検討しているところです。以上です。
竹内議長	説明は終わりました。質問等はありませんか。
田中委員	医師会の会員数が富津市は減っておりまして、認定審査会の担当が大変で、みんなが辞めたくなくなるような状況となってきました。まずは、審査会委員の育成のための研修が 1 年間でどこでどのように行われていて、どれくらい受けていらっしゃるかという点と、他の職種において、例えば新聞で

	はケアマネジャーさんが減ってきているということも聞いておりますけれども、富津市はどうかということをお伺いします。
竹内議長	はい、ありがとうございます。事務局どうでしょうか。
事務局 (西野係長)	ただいまの田中委員からのご質問につきましては、正確な数字がこの場ではお答えできませんので、申し訳ございませんが確認しまして後日回答させていただきたいと思います。
竹内議長	他にどうでしょうか。
三辻委員	さきほど現状の把握を教えてくださいました。これやっていることを説明していただいたんですけど、やった結果というのを把握できていなくて、結果を踏まえながら話をしていきたいなと思ったので、できればやった成果というところが知りたいなと思いました。 あと、去年のこの会議で、2～4ページの富津市の現状について、できれば地区別ごとにしていただければありがたいなという意見が出ていたと思うのですが、それが今年ないんですが、ならなかった理由がもしあれば教えてくださいたいです。
竹内議長	今の三辻委員の質問について、事務局どうでしょうか。
事務局 (西野係長)	結果の報告という点につきましては、次回以降反映するように検討してまいりたいと思います。 また、地区ごとに詳細をということにつきましては、資料に反映ができておりませんでしたので、こちらを改めまして、地区ごとで数字が出せる改善してまいりたいと思います。

竹内議長	他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは以上をもちまして議題第２号を終了いたします。 続きまして議題第３号「令和８年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。
事務局 (西野係長)	それでは、議題第３号「令和８年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について」をご説明いたします。 関連資料の「令和８年度在宅医療・介護連携推進会議年間予定表」及び「年間予定案について」をご覧ください。 昨年度の第２回会議において、委員の皆さまにグループワークにて出していただいた意見を参考に、今年度の予定を作成しましたので報告いたします。 まず、１つ目の年間予定表に記載いたしました令和８年度予定についてですが、本日第１回会議を開催しております。 続きまして、９月頃の平日夜間に、バイタルリンクの操作体験会を予定しております。講師は帝人ファーマの方に務めていただくことを予定しています。 続きまして、１１月の日曜日の日中に、マイライフノート活用セミナーを開催予定です。講師は千葉県行政書士会に依頼する予定です。こちらは、市民の方に広く参加していただくために日曜日の日中の開催を予定しております。 続きまして、１１月には認知症メモリーウォーク実行委員会の主催にて、認知症メモリーウォーク千葉 in 富津を開催予定です。 続きまして、１月の平日夜間に暴力・ハラスメント防止研修会を開催予定です。講師は法テラス千葉から弁護士を派遣していただく予定です。 最後に、２月に第２回在宅医療・介護連携推進会議を開催

予定です。

以上、年間予定をご説明しましたが、次にそれぞれの概要について説明いたします。1枚めくっていただき、「年間予定案について」という資料をご覧ください。

1つ目は、バイタルリンク勉強会（操作体験会）についてです。バイタルリンクの特徴としては、以下のような特徴が挙げられます。

①「電子上の連絡ノート」というイメージであり、インターネット上で様々な職種の方が閲覧・コメントができます。

②多職種間で時間や場所に左右されずに情報共有を実現できます。

③バイタルデータを経時的に管理することができます。

④安心・安全のシステム設計とフォローアップ体制があります。

このシステム設計とは、通信情報の暗号化に加え、電子証明書とID・パスワード入力による2要素認証で情報を管理するものです。

⑤受け取る側の通知については、メール通知のほか、アプリのアイコンの部分に数字がつき、スタッフによって通知を変えることができます。

⑥費用については、管理者は月に税別で5,000円、利用者は無料となっています。

令和7年度に実施した内容としまして、帝人ファーマ株式会社の伊藤秀司朗様、藤原茂様を講師に迎え、バイタルリンクの概要や活用のメリットについて紹介していただきました。また、その後、帝人ファーマが用意したタブレットを使用して、参加者の皆様に実際にバイタルリンクの操作を体験していただきました。当日は、13名の方に参加いただきました。

令和８年度の予定としましては、昨年度の第２回の会議で皆様から色々のご意見頂戴したところでございますが、今年度は引き続きバイタルリンクに実際に触れていただくことを主な目的として帝人ファーマ株式会社から講師を招き、操作体験会を実施予定です。

続きまして、バイタルリンクへの登録のお願いです。

バイタルリンクは、患者さんのグループをつくって患者さんの情報をやり取りするだけでなく、医療・介護事業所だけでグループをつくり、情報共有や意見交換の場としても使用することができます。

もしご関心のある方がいらっしゃいましたら、富津市介護福祉課へご相談いただければと思います。

続きまして、３ページをご覧ください。マイライフノート活用セミナーについてです。

人生を振り返り、自身の情報や要望、希望をわかりやすくまとめ、残しておくことで家族を助ける手段のひとつとして、「富津市マイライフノート」を作成しております。地域住民や医療・介護職の方々に対し、マイライフノートの普及啓発と活用を促進するため、マイライフノート活用セミナーを実施します。

令和７年度には、千葉県行政書士会の川出久男様、藤岡雅光様をはじめ千葉県行政書士会の行政書士の方々を講師に迎え、マイライフノート活用セミナーを実施し、５０名の方に参加いただきました。

「マイライフノートの活用及び自筆証書遺言書について」をテーマに講義いただいた後、参加者の皆様には、講師のアドバイスを受けながらマイライフノートまたは自筆証書遺言書を実際を書くワークショップに取り組んでいただきました。

令和８年度は、昨年度に引き続き千葉県行政書士会から講師を招き、マイライフノート活用セミナーを実施する予定です。

続きまして、４ページをご覧ください。認知症メモリーウォーク千葉in富津についてです。

「認知症の方が安心して暮らせるよう、認知症に対する偏見を取り払い認知症という病気の理解を深めるため市民に対して普及啓発を行う」ことを目的として実施しています。

先程、取組み一覧でも述べた内容が含まれますが、令和７年度には、１１月２９日に市民ふれあい公園にて実施いたしました。一般参加３０名、実行委員会３０名の計６０名が参加しました。

令和８年度は、１１月の実施に向け、毎月第３火曜日の実行委員会議等で話し合いを進めております。現状、１１月の４週目の３連休の日曜日、もしくは月曜日の祝日のどちらかで開催を予定しております。

また、詳細が決まりまして近付きましたら皆様にチラシ等でご案内させていただければと思いますので、ぜひご参加いただければと思います。

続きまして、５ページをご覧ください。暴力・ハラスメント防止研修会についてです。

医療・介護の現場で働く方が日常的に晒されている暴力・ハラスメントのリスクについて、弁護士の観点から対応のポイントなどを学ぶ研修会を実施します。

昨年度、第２回の推進会議でのグループワークにおいて、委員の皆様から「災害時の対応について」あるいは「看取りについて」という研修のご提案をいただいておりますが、そちらについても検討したところございましたが、先日、埼玉県川口市でケアマネジャーの方が被害者となる痛ましい事件がご

	ございましたことから、今年度は暴力・ハラスメント防止の研修を実施したいと判断いたしました。 法テラス千葉から弁護士を講師として招き、在宅医療・介護現場における暴力ハラスメント防止について、講演や事例検討を実施する予定です。 以上、今年度の予定についてご説明いたしましたが、委員の皆さまには開催が近づきましたら改めてご案内をいたしますので、お忙しいところ恐縮ですが是非ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。 事務局の説明は以上です。
竹内議長	質問等ございますでしょうか。
田中委員	マイライフノートのどこが改訂になったか教えていただけますでしょうか。
事務局 (西野係長)	ご説明いたします。マイライフノートにつきましては、問い合わせ窓口の内容が一部変わっております。
竹内議長	他に何かありますでしょうか。
藤野副会長	バイタルリンクなんですけれど、利用者は連携をとることができるって、もちろんこれは重要ななんですけれど、要はどういう風に運用されているかが周知されていないので、どう活用していいかわからない。 いま私たちも管理者でやってますけど、いまいち実感できないところで。実は大島委員との間で部屋を作ったりしたんですけれど、なんだかギクシャクして上手くいかなかったこともあって、私が知る限り富津でそういう動きがあると思えないので、木更津市では薬剤師会がかなり活発にやっている

	ので、どんなことをやっているのかということを知れたらもう少し周知が進んで、こういう使い方をすればいいのかということで皆さん活用してくださるんじゃないかと思ったので、可能であれば操作方法の他に、どんな形で運用しているのかという事例も提示していただければいいかなと思いました。
事務局 (西野係長)	今いただいたご意見につきましては、仰る通り、木更津の医師会は個人医院の数も多く、各包括と連携が取れていると伺っておりますので、そういったところの活用事例と、袖ヶ浦市である開業医の先生がバイタルリンクに非常に前向きで、行政にも働きかけていらっしゃるというお話も伺っております。そうした事例等も行政からお示しできればと考えております。ご提案ありがとうございました。
竹内議長	他にいかがでしょうか、ご意見ご質問などよろしいでしょうか。 質問等が無いようですので、事務局には年間スケジュールに沿って活動いただければと思います。 以上で本日の議題は全て終了いたしました。委員の皆様からその他で何かありますでしょうか。
門屋委員	訪問看護ステーションわくわくの門屋と申します。 先ほど三辻委員からお話のありましたように、富津市の在宅医療・介護連携の現状把握のお話があったんですけれども、要介護認定者が増えているにもかかわらず、ケアマネジャーが足りていない。減っています。 あとは、令和6年度の介護保険の改定によって、ヘルパーステーションを閉じたところもあるし、ヘルパーさんの数も

	非常に減っている。 その辺りを富津市の中でどうしていったらいいかなということや、こういう場でお話できたらいいかなと思っているのですが、いかがでしょうか。
事務局 (西野係長)	門屋委員、ご提案ありがとうございます。 仰る通り、ケアマネジャー及びヘルパーの人員不足については富津市としても憂慮すべき事態と考えております。 こちらについては人材確保のための取組みということで、介護福祉課で予算をとって実施しているところではあります。が、足りないという現実に対してなかなか有効とまでは言えないというのが現状かなと認識しております。 そうした中で、実際に医療・介護の現場で働いている皆様からお声をいただいたことは非常に貴重だと考えておりますので、2月に実施する第2回会議の際に、グループワークの議題等として設定させていただき、そこで皆様のお声をまた頂戴できればと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。
竹内議長	他にご意見・ご質問などよろしいでしょうか。
藤野副会長	現状把握についての資料の3ページのところの、居宅介護（介護予防）サービス受給者1,752人というのは、要介護と要支援の方のうちサービスを使っている方の人数という認識でよろしいでしょうか。
事務局 (西野係長)	介護予防を含む居宅介護のサービスを使っている方がこの人数ということになります。
藤野副会長	そうすると先ほど田中委員の方からもありましたけれど、

	ケアマネの数が不足しているということで、いま富津市内に約 40 人のケアマネがいる。この数でやっていくとケアマネ 1 人当たり 43.3 人ということで、給付数の限界まであと 1.7 人くらいしかいないという非常にひっ迫した状態になるので、門屋委員からもありましたけれど、確かに富津市のケアマネだけでやることではないですけど、もう表面張力一杯に近付いているというところも含めて、この場でもそういった議論が今後必要ではないかなと思いました。
事務局 (西野係長)	貴重なご意見ありがとうございます。こちらもまた、第 2 回会議等でグループワークを含めて検討できればと思います。よろしくお願いいたします。
竹内議長	他によろしいでしょうか。
三辻委員	すみません、そもそもこの会議の要綱みたいなものをちゃんと見ていないので、趣旨を把握せず申し上げているので、方向性が違っていたら大変恐縮なのですが、この会議の目標として「いきいきと住み慣れた街で高齢者の方が過ごせる」というところが趣旨になっていると思うんですけど、いきいきと暮らすというのが、在宅で最期まで看取りをするのか、又は安心できる施設に行くのか、それぞれ一人ひとりだと思っているんですけども、私が富津で訪問看護をされていて感じるのが、私が関わらせていただいている方たちは、ケアマネジャーさんが足りないのは現実ですが、皆さん頑張ってくださいっていて、すごく良い街だと私は感じています。医療・介護の連携の部分で。 ただ、やはり皆さんが頑張っていらっしゃってこの現状があるというところを、私たちの現場と、行政の方と、その辺

	をもう少し意見交換をして、現状把握というところで具体的な場面をお伝えさせていただけたらありがたいなと思っているので、そういうこともこの場でお話ができたら良いなと思っております。
事務局 (西野係長)	そういうところも含め、第2回会議の内容を検討していきたいと思います。よろしくお願いいたします。
竹内議長	課題がたくさんありますので、よろしくお願いいたします。 事務局から何かございますか。
事務局 (西野係長)	事務局から申し上げます。マイライフノートについてです。 皆様のお手元に一部ずつ配布しておりますが、お持ち帰り いただいて、ご活用いただければ幸いです。また、複数必要 な方は在庫がございますのでお帰りの際にお持ちいただければ と思います。 事務局からは以上となります。
竹内議長	事務局の説明は終わりました。ご質問等ございますでしょうか。
委員	(なし)
竹内議長	質問等もないようですので、以上を持ちまして令和8年度 第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を終了いたします。 本日はおつかれさまでした。